

部局名

農学部 フィールド科学教育研究センター（延岡）

担当：内田 勝久



テーマ

海で育んだ巨大ヤマメみやざきサクラマス



宮崎県沿岸では、海水温の低下する冬季に冷水性魚類であるヤマメを育むのに適した水温が整います。

私たちは、冬にヤマメを海水に馴致させ、海で養殖する技術確立しました。海水で育まれたヤマメは巨大化し、サクラが咲く頃には体重が10倍近くに増えます。この海で育んだ巨大ヤマメ、“みやざきサクラマス”は、春以降は内水面（淡水）で養殖でき、もみじ色づく頃には黄金色のイクラがたくさん採卵できます。



詳細内容はQRコードから確認できます

のうがく図鑑: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/agr/books/book-fsce/post-31.html>



海水で育てたヤマメ（下）と
淡水で育てたヤマメ（上）

冬季の温暖な海水を利用し、宮崎方式の「ヤマメ」海面養殖技術確立！

冬季（12月から3月）にヤマメを延岡市沿岸で海面養殖すると、体重は約10倍に増え、巨大化する！



サクラマスのお刺身

海で育んだ巨大ヤマメ“みやざきサクラマス”は、脂がのり、まろやかでやさしい味。“食べて美味しく、健康に良い”魚肉



サクラマスの卵は黄金色

親魚の腹部をやさしく圧迫することにより卵を採集します。この卵にすばやく精子を混ぜ人工授精を行います。